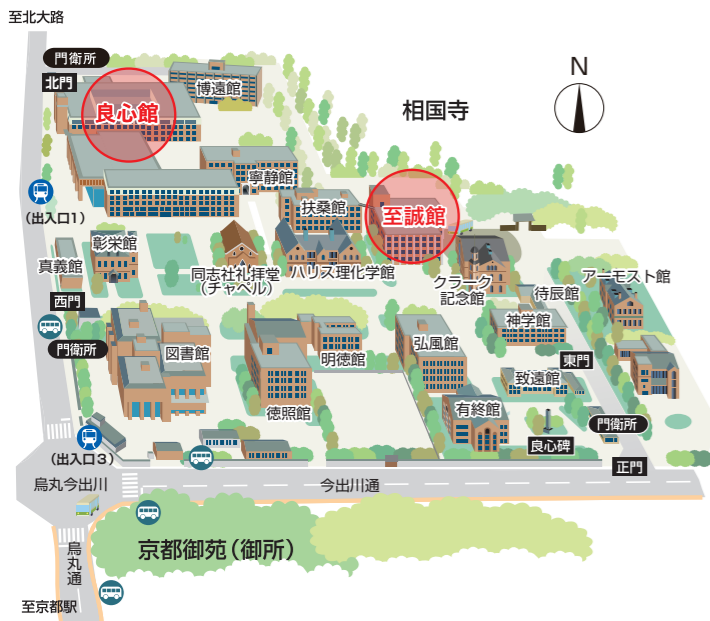


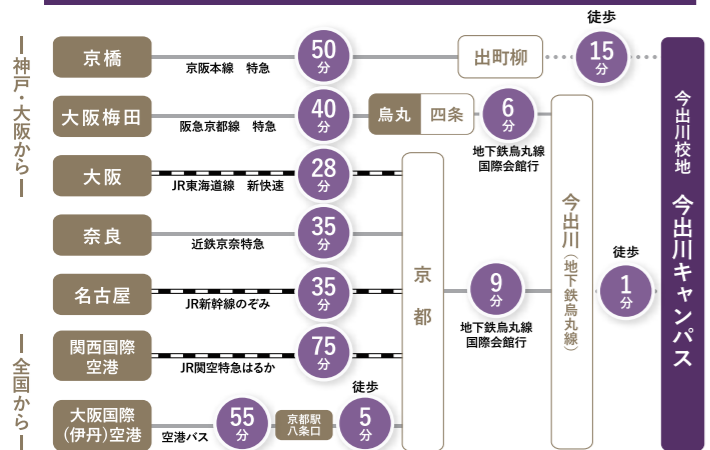
今出川キャンパス

地下鉄出入口 バス停留所

- JR 京都駅から地下鉄烏丸線で10分、「今出川」駅下車すぐ
- 阪急烏丸駅から地下鉄烏丸線で6分、「今出川」駅下車すぐ
- 京阪「出町柳」駅下車徒歩約15分



今出川キャンパス アクセス



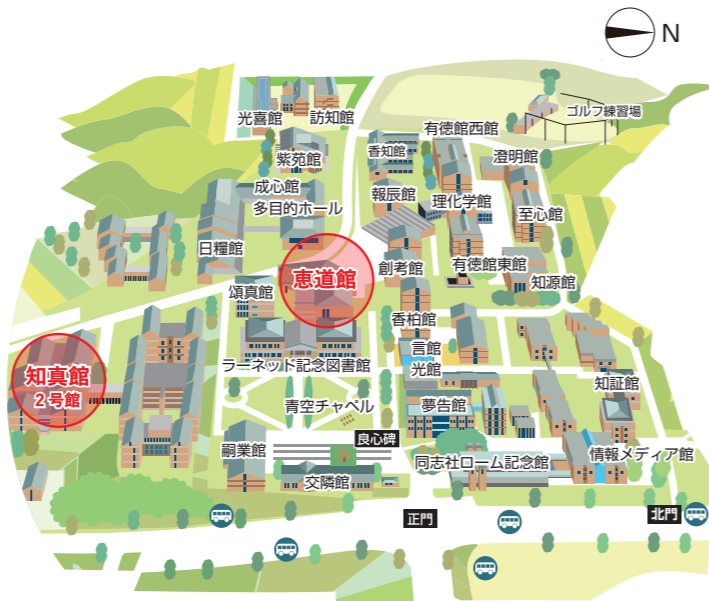
京都市営地下鉄 烏丸線 今出川駅1・3番出口からすぐです。



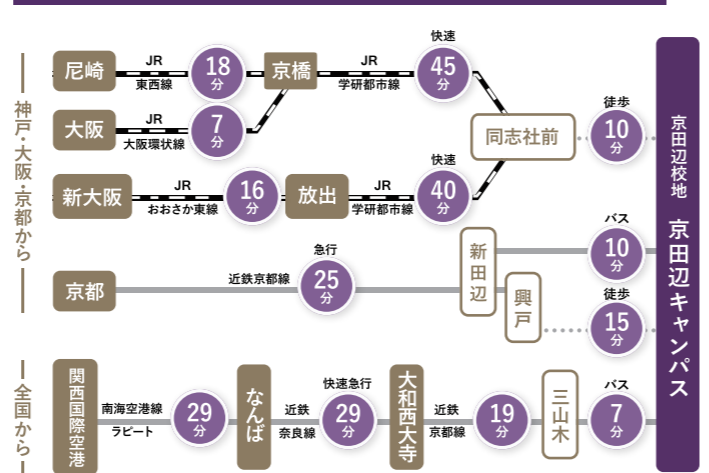
京田辺キャンパス

バス停留所

- JR 学研都市線「同志社前」下車徒歩10分
- 近鉄京都線「興戸」駅下車徒歩15分



京田辺キャンパス アクセス



講座の受講は無料です

大学の講義と同じ形式で体験できます!

同志社大学 大学入学準備講座

お知らせ
過去の講座も動画配信しています!
※詳細は以下ホームページの「過去の講義」をご確認ください。

オープンキャンパスと同日開催!

興味のあるテーマを選び
【一足早い大学の講義】

- 対面講義**
- 開催日: 7月27日(土)
京田辺キャンパス
文化情報学部、生命医科学部
 - 開催日: 7月28日(日)
京田辺キャンパス
スポーツ健康科学部
 - 開催日: 8月3日(土)
今出川キャンパス
社会学部、グローバル地域文化学部
 - 開催日: 8月4日(日)
今出川キャンパス
商学部、法学部

大学の14の学部の教員が、それぞれ専門分野で扱う学問の内容からテーマを選び、実際の大学の講義と同じ形式で皆さんに分かりやすく授業します。

オンデマンド講義
配信期間
8月20日(火)~3月31日(月)
神学部、文学部、経済学部、政策学部、理工学部、心理学部、グローバル・コミュニケーション学部



受講申込受付期間

対面講義 2024年7月8日(月)~7月14日(日)
※事前申し込みの上、抽選となります。抽選結果は7月中旬にご連絡いたします。

オンデマンド講義 2024年7月8日(月)~12月26日(木)
※申し込みをされた方に視聴のご案内をいたします。

受講申込方法

以下ホームページの「受講申込方法」をご確認いただき、お申込みください。
同志社大学学習支援・教育開発センター > 大学入学準備講座
https://clf.doshisha.ac.jp/clf/preparation_course/course.html



対象者

- ★主に高校1・2年生の方を対象とし、将来大学に進学される際の志望学部・学科選択の参考にさせていただきたいと考えています。もちろん高校3年生や大学受験予定者の受講も歓迎いたします。
- ★ご父母の同伴も可能ですが、同伴の方も申込が必要です。
- ★大学における講義の実態を知り、高校での指導に役立てていただくため、高校の先生方も講義を受講していただけます。
- ※申込者多数により抽選となった場合は、高校生優先となりますのでご了承ください。



お問合せ・お申し込みは学習支援・教育開発センター
TEL: (075) 251-3277 FAX: (075) 251-3025
E-mail: ji-kyoik@mail.doshisha.ac.jp https://clf.doshisha.ac.jp/clf/preparation_course/course.html

2024年度 同志社大学 大学入学準備講座 講義概要



講座 A1 京田辺キャンパス 知真館 2号館101教室 文化情報学部
いいお たかまさ 飯尾 尊優 准教授
開催日時 **7.27(土) 9:30~11:00**

ロボットは「心のよりどころ」になれるか？

私たちは身近な人々に心の支えを見出すことがありますが、ロボットも同様の役割を果たす可能性はあるのでしょうか？ AI 技術の発展に伴い、人間と社会的なやりとりを行うソーシャルロボットに関する研究が盛んに行われるようになりました。この講義では、ソーシャルロボットが会話する様子を見てもらいながら、ロボットが人間の感情や行動にどのように影響を与え、心の支えとなり得るかを検討します。また、ロボットと人間との相互作用を理解するためには、工学的な技術だけでなく、人文・社会科学の知見が不可欠であることも議論します。時間があれば、ロボットとの会話を体験してもらいます。

講座 A2 京田辺キャンパス 知真館 2号館101教室 生命医科学部 医情報学科
こばやし こうた 小林 耕太 教授
開催日時 **7.27(土) 12:50~14:20**

脳が音を創って聞く仕組みを知り、脳補聴器を開発する

私達が普段聞いている音は、耳から入力された情報を脳が解釈した結果です。音そのものを聞いているわけではありません。脳の働きにより、音情報が削除や修飾を受けたその成果を、音として体験しているのです。この音を聞く仕組みを利用して脳補聴器を開発する研究について紹介します。生命医科学とは、ヒト、動物、細胞、生体分子などを対象に生命の仕組みを明らかにし、その成果を医療に応用することを目指すものです。脳補聴器はそのような研究の1つの例になります。

講座 A3 京田辺キャンパス 恵道館 210 教室 スポーツ健康科学部
あらい あや 新井 彩 准教授
開催日時 **7.28(日) 11:10~12:40**

スポーツ・運動をする「身体」を知ろう —外から知る・中身を知る—

みなさんは自分自身がスポーツ・運動をするときに、どのように身体が振る舞っているのかを考えることがあるのでしょうか。映像をみたりアドバイスをもらったりしてフォームについて考えること、どこの筋肉を鍛えると良いのかを考えることなど様々な機会があるでしょう。最近では、スマートフォンなどで気軽に動画を撮影できるため、「フォームを観察する」ことは容易です。だからこそ、観察する際の観点や動画上でわかることが何なのかを理解することが重要であり、スポーツ科学が面白く感じられる入り口かもしれません。本講義では、分析するというを身近に感じられるきっかけとなるようにスポーツ・運動する身体について考えていきましょう。

講座 A4 今出川キャンパス 良心館 204教室 社会学部 産業関係学科
かじたに しんや 梶谷 真也 教授
開催日時 **8.3(土) 10:20~11:50**

労働時間規制の根拠：長時間労働の何が問題か？

労働時間は労働条件の中で最も重要な要素のひとつです。日本では、労働基準法で労働者の労働時間に上限を設けています。しかし、「最適」な労働時間は働かせる側（使用者）と働く側（労働者）では異なるでしょう。社会学部産業関係学科では、経済学的なアプローチや法学的なアプローチなど多面的な接近方法で「働く」を学びます。今回は、経済学的なアプローチから労働時間規制の根拠について考えていきます。

講座 A5 今出川キャンパス 良心館 204教室 グローバル地域文化学部
たていし ようこ 立石 洋子 准教授
開催日時 **8.3(土) 13:40~15:10**

多民族国家ロシアの歴史と現在

この講義では、まずロシアの歴史を政治や文化、経済、他国との関係などさまざまな観点から概観することで、現在のロシアがどのように形成されたのか、その多民族性、多宗教性、多言語性がどのように生まれたのかを説明します。それとともに、現在のロシアの政治や経済の制度、民族や宗教、文化、日常生活、日本との関わりなど、ロシアを理解するうえで必要となる基本的な情報を紹介します。

講座 A6 今出川キャンパス 至誠館 22 教室 商学部
なかおか たかよし 中岡 孝剛 准教授
開催日時 **8.4(日) 10:20~11:50**

企業経営を経済学 × データ分析のレンズでのぞいてみよう

メディアでは「〇〇が△△を買収」、「××で品質検査の不正発覚」などの企業経営に関するニュースを見聞します。これらの経営現象は企業による「選択」の結果です。では、この選択はどのような基準によって行われているのでしょうか。それを説明できる理論の一つが経済学です。経済学は「選択」の学問だと言われています。経済理論のレンズで見ると、その経営現象を説明できる洞察を得ることができます。また、経済学ではその理論の妥当性をデータ分析で検証していきます。本講義では、経済学の基本的な考え方を説明した上で、いくつかの事例を踏まえながら、商学部で経済学 × データ分析を学習する意味を一緒に考えていきます。

講座 A7 今出川キャンパス 至誠館 22 教室 法学部 法律学科
ひがき しんじ 檜垣 伸次 教授
開催日時 **8.4(日) 13:40~15:10**

表現の自由について考える —ヘイト・スピーチを素材として—

近年、ヘイト・スピーチやインターネット上の誹謗中傷などが大きな社会問題となっています。これらの表現は、その対象となった人々をひどく傷つけるものであるため、厳しく罰するべきであるという声もあります。他方で、憲法が表現の自由を保障していることから、規制に反対する意見もあります。この講義では、ヘイト・スピーチを素材にして、表現の自由について考えてみたいと思います。まずは、憲法がなぜ表現の自由を保障しているのかについて考え、次に、ヘイト・スピーチのような表現を規制することがなぜ難しいのかを考えていきます。また、日本がヘイト・スピーチにどのように対処しているのかについても見てみたいと思います。

講座 B1 オンデマンド講義 神学部
むらやま もりよし 村山 盛葦 教授
配信期間 **8.20(火)~3.31(月)**

イエス・キリストの実像に迫る

今から約 2 千年前、パレスチナのガリラヤという地域で一人の男が立ち上がりました。「今の社会のままではいけない、何とかしないとイケない。」と。社会に貢献できず、ただ日常生活のルーティンを繰り返すだけの自分を不甲斐なく思っていたからです。しかし、洗礼者ヨハネの出会いと別れを通して、その男は社会からこぼれ落ちていく人々、社会の底辺にどんでん人々を癒し励まし、神の愛を分かち合っていました。この講義ではこの男、すなわち、イエスの生き様を歴史的に考察します。奇跡ってほんとうにあったの？イエスとキリストって違う人物なの？このような素朴な問いに「聖書学」という学問から応えて行きたいと思います。

講座 B2 オンデマンド講義 文学部 哲学科
はっとり ゆきひろ 服部 敬弘 准教授
配信期間 **8.20(火)~3.31(月)**

哲学無用論

哲学は抽象的です。哲学者は、存在、真理、神など、目に見えない観念的なものについて延々と論じています。彼らの議論はあまりに現実離れしていて、何の役に立つのかと疑問に思うものばかりかもしれません。この疑問は今に始まったものではありません。哲学が産声をあげた 2500 年前のギリシアです。哲学は「国家社会に役立つ人間」を生み出すだけだ、という批判がなされていました。では、このような批判に哲学者自身はどう答えたのでしょうか。プラトンは、当時の「哲学無用論」に対して様々な比喻を使って応答しています。プラトンの答えに耳を傾けることで、哲学することの意味について考えてみたいと思います。

講座 B3 オンデマンド講義 経済学部
さとう あつひろ 佐藤 敦紘 准教授
配信期間 **8.20(火)~3.31(月)**

インセンティブの経済学 —騙されない、騙させない人になるために—

人の行動を変化させる要因のことをインセンティブといいます。この講義では人を騙すインセンティブを中心に、インチキ、嘘、虚偽、不正などの刺激的な事例を取り上げ、それらに対して経済学がどんな役割や貢献を果たしているか紹介します。身近な人間関係もその対象です。たとえば、「あの先生に限って生徒を騙したりするわけない」なんて思ったことありませんか？どんな先生も人間です。必要に迫られて虚偽や不正を働くこともあるかもしれません。では、たとえ嘘をつかれても騙されない、また、できれば嘘をつかせないためにはどうしたらよいでしょう？そんな仕組みや方法を経済学の観点から考えてみようという講義です。

講座 B4 オンデマンド講義 政策学部
いがわ もえぎ 伊川 萌黄 助教
配信期間 **8.20(火)~3.31(月)**

政策学部で学ぶこと—環境問題を例にして—

ニュースや SNS で、私たちは日々様々な問題があふれていることを知ります。気候変動、海洋汚染、貧困問題、少子高齢化、ジェンダー…どうしてこういった課題はなくなるのか、考えたことはありますか？世の中には既にたくさん専門家がいて、法律や制度もあるのに、なぜでしょうか？この講義では、環境問題を例にして、なぜ問題がそもそも発生し、どう解決すればいいのかを理論的な観点から説明したうえで、その解決策が現実社会では一筋縄では実装できない背景をたどりま。そのなかで、政策学部の特色である「学際性」「Problem/Project-Based-Learning(PBL)」がこれからの社会の中でどのように生きていくかを皆さんに考えていただければと思います。

講座 B5 オンデマンド講義 理工学部 機能分子・生命化学科
きたがし ひろあき 北岸 宏亮 教授
配信期間 **8.20(火)~3.31(月)**

化学における「ものづくり」～分子に機能を持たせるワザ～

錬金術という言葉を知っていますか？錬金術とは古来、ただの石コロをピカピカの金属に変身させる術のことで、錬金術師は英語で「Alchemist」と呼ばれます。そうですね、chemistry (化学) の要素が含まれています。つまり、化学とは、物質のあるものから別のものへと分子のレベルで変換させる、魔法のような学問です。今回、理工学部の化学系で行っている研究を例にあげて、いかにして分子に機能を持たせるのか、わかりやすく解説したいと思います。これによって、みなさんが学んでいる高校化学が、どのように研究の現場につながり、世の中の役にたつ物質が生み出されるのか、実感してほしいと思います。

講座 B6 オンデマンド講義 心理学部
たけはら たくま 竹原 卓真 教授
配信期間 **8.20(火)~3.31(月)**

意外といい加減なわたしたちのころ

わたしたちの脳はコンピュータより精密だとよく言われます。しかし、若い人も年配の人も、実際の日常生活において、さまざまなミスをしてしまったり、失敗をしてしまったり、誤った判断を下してしまったりすることがよくあります。これは、わたしたちのころが思ったほど精密ではなく、けっこういい加減なことを行っているためだと考えられます。この講座では、人の判断ミスや偏った見解をいろいろな観点から実際に経験し、その仕組みの解説からわたしたちのころは決して精密ではなく、むしろけっこういい加減なんだということを改めて考える機会にしてほしいと考えています。

講座 B7 オンデマンド講義 グローバル・コミュニケーション学部
ムートン ジスラン MOUTON GHISLAIN 助教
配信期間 **8.20(火)~3.31(月)**

Communicative skills in French 「笑顔で真面目にフランス語」

グローバル・コミュニケーション学部は実践的コミュニケーション能力の育成を目的としていますが、それは〈語学〉だけを学ぶということではありません。言語の背景にある文化、言語が機能する社会に対しても一緒に学ぶ必要があります。言語・文化・社会に対して総合的に学び、コミュニケーション能力、教養と思考力を備えたグローバル人材を育てます。この講座では、文法、発音、綴りを効率よく英語や日本語と比較しながらフランス語を学びます。発音指導(基礎編)を行いますので、挨拶の表現を使った簡単な会話(自己紹介編)ができるようになります。あなたの既習の言語レパートリーを活かし、類似点の差異に気づいてもらえば、フランス語だけでなく異文化にまで興味をもつようになるかもしれません。